



教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

東浦町SP通信

～東浦町では、学生ボランティアを“職員の仲間”という思いを込めて、
「SP」または「スクールパートナー」と呼んでいます。～

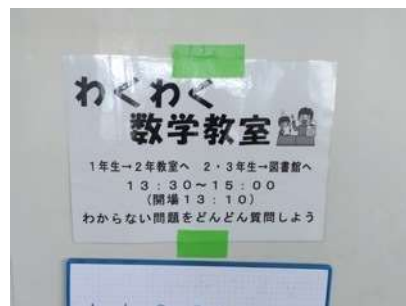
第7号

2023年8月24日

編集 緒方 なな
東浦町教育委員会
SPコーディネーター

東浦中学校 「わくわく数学教室」

8月23日（水）・24日（木）の午後は、東浦中学校で「わくわく数学教室」が開催されました。それぞれの日に約80～90人ほどの生徒が登校しました。夏休み後半、天気も不安定、ジメジメと蒸し暑い日でしたがこれだけの生徒が学校に数学を勉強しにくるのがすごいです。「数学ができるようになりたい」「勉強したい」と思い、こうして実際に登校してくるのは、“SPさんがいるから”という理由もあるでしょう。「わくわく数学教室」に来ている生徒の顔ぶれを見ると、片葩小学校の「わくわく算数教室」に来ていた、“リピーター”もたくさんいました。きっといい思い出がたくさんあるのでしょう。小学校から中学校へ、学びの文化が繋がっていく。そこに必要不可欠なのが、SPさんの存在です。優しく、面白くて、話をたくさん聞いてくれて、真剣に向き合ってくれる。分からない時は、とことん付き合ってくれる。なんとか分かるように一緒に悩んでくれる。そんな存在が子どもたちの支えになっています。真剣なSPさんの姿は、やる気を引き出してくれます。東浦町の学生ボランティア事業、10年の実績を感じます。



←自己紹介

先生の計らいで、自己紹介をさせてもらっていました。こうして生徒を目の前にして話ができる機会はなかなかありません。貴重な機会でしたね。

数学教室の様子→

SPさんも、子どもも、真剣に数学に向き合っていました。数学教室終了後には、SPさん同士で振り返りをしました。「どう伝えたら分かりやすいかな?」「こう伝えたらスツと入る子もいたよ!」こうした意見や情報交換の時間は宝物です。大学も学年も地元も違うけれど、同じ志を持った仲間との出会いが東浦町にはあります。

